

平成25年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年6月12日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 光彩工藝

コード番号 7878 URL <http://www.kosaikogei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 深沢 栄二

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理部 部長 (氏名) 吉田 貴

TEL 0551-28-4181

四半期報告書提出予定日 平成24年6月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年1月期第1四半期の連結業績(平成24年2月1日～平成24年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年1月期第1四半期	615	—	13	—	13	—	12	—
24年1月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注)包括利益 25年1月期第1四半期 14百万円 (—%) 24年1月期第1四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年1月期第1四半期	3.35	—
24年1月期第1四半期	—	—

(注)平成25年1月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成24年1月期の数値及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年1月期第1四半期	1,952	1,427	73.1	380.81
24年1月期	—	—	—	—

(参考)自己資本 25年1月期第1四半期 1,427百万円 24年1月期 一百万円

(注)平成25年1月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成24年1月期の数値は記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年1月期	—	0.00	—	2.50	2.50
25年1月期	—	—	—	—	—
25年1月期(予想)	—	0.00	—	2.50	2.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年1月期の連結業績予想(平成24年2月1日～平成25年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,222	—	6	—	3	—	1	—	0.27
通期	2,540	—	15	—	12	—	8	—	2.13

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

1.通期業績予想につきましては、平成25年1月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期及び前年同四半期増減率は記載しておりません。

2.業績予想の修正につきましては、本日発表の「連結決算開始に伴う平成25年1月期連結業績予想並びに個別業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年1月期1Q	3,960,000 株	24年1月期	3,960,000 株
② 期末自己株式数	25年1月期1Q	212,124 株	24年1月期	212,124 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年1月期1Q	3,747,876 株	24年1月期1Q	3,948,398 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当第1四半期より、当社100%出資子会社KOSAI VIETNAM CO., LTDを連結の範囲に含めた四半期連結財務諸表を作成しております。作成初年度に当たり、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度末との比較、分析は行っておりません。

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響から緩やかな回復の兆しが見られるものの、欧州政府債務危機による海外経済の低迷、原油高等による景気の下振れリスクが存在し、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

宝飾業界におきましても、貴金属地金相場が不安定な状況で推移するなど、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような経済情勢のもと、当社は引き続き高付加価値商品の販売強化、生産技術の改善に徹底して取り組んだ結果、ベトナム子会社の設立における投資費用が先行するものの、営業利益、四半期純利益ともに黒字を確保することができました。

以上により、当第1四半期連結累計期間における当社の業績は、売上が615百万円、経常利益は13百万円、四半期純利益は12百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期累計期間における総資産は1,952百万円となりました。その主な内訳は、たな卸資産が551百万円等であります。

負債は525百万円となりました。その主な内訳は、長期借入金が93百万円等であります。

なお、純資産は1,427百万円となり、自己資本比率は73.1%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年1月期第2四半期及び通期の業績予想につきまして、平成24年3月19日に公表いたしました業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日発表の「連結決算開始に伴う平成25年1月期連結業績予想並びに個別業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判定に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっており、前事業年度末以降に経営環境等、又は、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

③ 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期累計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要
該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第1四半期連結会計期間
(平成24年4月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	568,787
受取手形及び売掛金	380,439
たな卸資産	551,639
その他	12,469
貸倒引当金	△6,002
流動資産合計	1,507,333
固定資産	
有形固定資産	330,972
無形固定資産	4,558
投資その他の資産	95,540
固定資産合計	431,070
繰延資産	14,441
資産合計	1,952,845
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	31,767
短期借入金	230,000
未払法人税等	1,748
引当金	5,913
その他	109,756
流動負債合計	379,184
固定負債	
長期借入金	93,260
退職給付引当金	28,840
役員退職慰労引当金	22,925
その他	1,410
固定負債合計	146,435
負債合計	525,620

(単位：千円)

当第1四半期連結会計期間
(平成24年4月30日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	602,150
資本剰余金	509,290
利益剰余金	342,097
自己株式	△29,942
株主資本合計	1,423,594
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	2,134
為替換算調整勘定	1,497
その他の包括利益累計額合計	3,631
純資産合計	1,427,225
負債純資産合計	1,952,845

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年4月30日)
売上高	615,126
売上原価	514,151
売上総利益	100,974
販売費及び一般管理費	87,064
営業利益	13,909
営業外収益	548
営業外費用	
支払利息	859
その他	217
営業外費用合計	1,077
経常利益	13,381
税金等調整前四半期純利益	13,381
法人税等	810
少数株主損益調整前四半期純利益	12,570
四半期純利益	12,570

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
(自 平成24年2月1日
至 平成24年4月30日)

少数株主損益調整前四半期純利益	12,570
その他の包括利益	
其他有価証券評価差額金	634
為替換算調整勘定	1,497
その他の包括利益合計	2,131
四半期包括利益	14,702
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	14,702
少数株主に係る四半期包括利益	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当第1四半期累計期間（自平成24年2月1日 至平成24年4月30日）

1. 報告セグメントの決定方法

当社の事業セグメントは、当社の事業単位のうち分離した財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、主にリング・ペンダント等のジュエリーアクセサリー工程を取り扱うジュエリー事業部と、イヤリングパーツ・クラスプ等の半製品工程を取り扱うジュエリーパーツ事業部の2つの事業セグメントから構成されております。

しかし、当社の事業セグメントはいずれも貴金属製品として、その経済的特長、製品の製造及び販売方法、対象とする市場及び顧客等は概ね類似するため、これらを集約し「ジュエリー事業」を単一の報告セグメントとしております。

2. 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「ジュエリー事業」において、ジュエリーアクセサリーやイヤリングパーツ等の半製品を製造・販売しております。

当社は、「ジュエリー事業」の単一セグメントであるため、その他のセグメント情報の記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。